

2019年2月21日

## 福利厚生サービスのJTB ベネフィットが 「健康経営優良法人 2019～ホワイト 500～」に認定

企業・法人に福利厚生サービスを提供する株式会社 JTB ベネフィット（東京都江東区 代表取締役社長：重田毅 以下、JTB ベネフィット）は、2019年2月21日に、経済産業省・日本健康会議が選ぶ「健康経営優良法人 2019（大規模法人部門）～ホワイト 500～」に認定されました。

### 1. JTB ベネフィットの取り組み概要

#### （1）「健康経営宣言」の発信と推進体制の構築

JTB ベネフィットでは、「健康経営宣言」を行い、代表取締役社長を統括責任者とする委員会を中心とし、全従業員とともに健康経営に取り組んでいます。

#### （2）「4つの健康」へアプローチ

健康を「健康なカラダ」、「健全なココロ」、「働きやすい職場」、「オープンなコミュニケーション」の4つと捉え、各種施策を実施しています。

#### （3）2018年度は「3つの重点推進事項」を設定

2018年度は、①生活習慣病の予防、②メンタルヘルス不調対策、③ワークライフバランスの充実の3つを重点推進事項とし、特に取り組みを強化しています。

### 2. 「健康 100 日プロジェクト」で健康活動を習慣化

健康経営の中心的な施策の1つとして従業員全員で行った取り組みが「健康 100 日プロジェクト」です。「健康 100 日プロジェクト」は、JTB ベネフィットが株式会社 Be&Do（大阪府大阪市 代表取締役：石見一女）と共同で提供する、健康活動の習慣化やコミュニケーションの活性化を目的とした100日間のプログラムです。

参加者はあらかじめ「2キロ痩せる」、「体脂肪率を下げる」など、100日間で達成したい健康に関する目標と、その実現のための、「野菜から食べる」などの行動目標を設定します。そして、スマートフォンやPCから、自身のチームの専用ページにアクセスし、掲示板やメッセージの機能を活用し、互いに応援し合いながら、目標達成に向けて取り組みます。

JTB ベネフィットでは、全従業員をランダムに28のチームに分け、本プロジェクトを実施しました。その結果、下記の改善が見られました。

- ①「運動の習慣化が出来ている」従業員が 76.0%から 81.5%に増加
- ②「自身の健康に気を付けている」従業員が 75.5%から 91.9%に増加
- ③「自身の生活習慣についてマネジメントできている」従業員が 61.7%から 75.0%に増加
- ④「職場でのコミュニケーションが円滑に取れている」従業員が 67.3%から 84.7%に増加

今後も JTB ベネフィットでは、健康経営の中心的な施策として「健康 100 日プロジェクト」を継続実施するとともに、健康経営の推進を目指す企業・法人へのサービス提供も引き続き行ってまいります。

### 3. JTB グループ全体の取り組み

JTB ベネフィットが所属する JTB グループもこのたび、グループとして「健康経営優良法人 2019（大規模法人部門）～ホワイト 500～」に認定されました。JTB グループでは、加入者の健康や福利厚生サービスを担う組織である「J スクエア」と労使が連携し、従業員の健康保持・増進に取り組んでいます。

今後も、「従業員一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むこと」を中心軸に据え、グループを挙げて健康経営の推進に取り組んでまいります。

JTB ベネフィットはこれからも、経営理念で標榜している「健康で心豊かな社会の実現」に向けて、自社の健康経営を推進していくとともに、働くすべての人々の健康のために、様々なサービスの提供を行ってまいります。

#### 【参考】

##### ■ JTB ベネフィットの健康経営宣言

当社は経営理念において、「活力ある組織創り」と「健康で心豊かな社会の実現」への貢献を標榜しており、その実現のためには、全従業員にとって「心身ともに健康でイキイキと働くことのできる環境（『健康なカラダ』・『健全なココロ』・『働きやすい職場』・『オープンなコミュニケーション』の『4つの健康』）」の充実が重要であると考えます。

この「4つの健康」の充実のために、会社・健康保険組合・従業員とその家族が一体となり、「従業員自身が健康に対し自律的に行動するための支援」と「風通しが良く、働きやすい職場創り」に継続的に取り組んでいくことをここに宣言いたします。

##### ■ 「健康 100 日プロジェクト」イメージ



<報道関係の方からのお問い合わせ先>JTB 広報室 03-5796-5833

<一般のお客様からのお問い合わせ先>株式会社 JTB ベネフィット 03-5245-7503 (担当：内山)